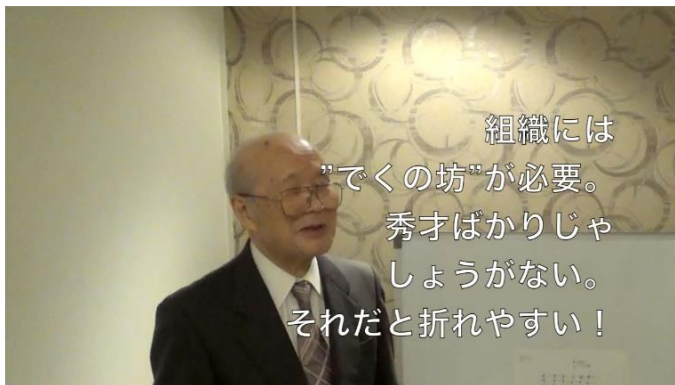


■外からの力がいくらかかっても、毛髪の内
部ではSHとSSがどんどん交換反応を行っ
ているために、最終的には引っ張った状態で
最も安定な網目構造が生まれる。

■そして生命を守っていくというカラクリが毛
髪の中にはある。

■だから毛髪は引っ張られても壊れないで元
の状態に戻って行く。



■構造が変化し元の状態に戻って行くとい
うのはまさに生命である。どんなに叩かれても
元の状態に戻るといのは命。毛髪は死んで
いると言うけれどもそうではない。毛髪は生き
ている神秘的なものである。

この「SH/SS 交換反応」から1つの教訓が得られます。

普段はあまり働かないSHという“でくの坊”がいるが、

その“でくの坊”がいざという時に活躍して他のSSの結合を守っていく。

これがまさに組織なんです。

組織には“でくの坊”が必要なんです。

秀才ばかりじゃしょうがない。

秀才ばかりじゃ(その組織は)弱く、折れやすい！

毛髪は折れにくく、強靱で、曲げやすいのはなぜか？

それは毛髪の中に普段は働かない“でくの坊”SHがいるからなんです。

ですから、それらの“でくの坊”も愛さなければいけないわけですよ。